

講義名	公衆栄養学
開講学年	1 年
講義開講時期	前期
単位	2

担当教員

奥谷 香

授業の達成目標	1. わが国の国民の健康状態、栄養・食生活問題の現状と課題、対策を理解し、栄養士として果たすべき役割を考え、実践する力を養う。 2. 公衆栄養スクリーニング・アセスメントを理解し、公衆栄養プログラムの各項目を実施できるための知識を習得する。 3. 公衆栄養活動に関連する法律を理解する。
授業の概要	地域、集団の健康・栄養問題の解決に取り組むため、わが国の国民の健康状態、栄養・食生活問題の現状と課題や対策を学ぶ。 公衆栄養プログラムを立案し、実施するための方法や理論を講義する。
授業形式	講義，パワーポイント（スライド）を使用

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	公衆栄養学の概念-1	公衆栄養学の概念・目的 公衆栄養活動の歴史-1	公衆栄養学とは
2	公衆栄養学の概念-2	公衆栄養活動の歴史-2 公衆栄養活動の現状と課題	公衆栄養活動の現状
3	わが国の健康・栄養問題の現状と課題-1	国民の健康状態の変遷 少子・高齢化社会の現状と栄養・健康政策	予防医学の概念 合計特殊出生率，平均寿命，健康寿命
4	わが国の健康・栄養問題の現状と課題-2	わが国の食生活の変遷	国民健康・栄養調査，食生活の変化，BMI と内臓脂肪症候群
5	わが国の健康・栄養問題の現状と課題-3	食料需給と自給率 食料需給の現状と課題	食料自給率，食品ロス，フードマイレージ，地産地消
6	公衆栄養マネジメント-1	公衆栄養マネジメント，スクリーニング・アセスメント 公衆栄養プログラムの目標設定と評価	公衆栄養マネジメントサイクル（PDCA），社会調査法，プログラム（短期・中期・長期目標，改善目標，評価など）

7	公衆栄養マネジメント-2	公衆栄養プログラムの展開 公衆栄養活動と行政栄養士の業務、地域特性への対応	行政栄養士の活動と業務 (都道府県, 保健所設置市 および特別区, 市町村)
8	公衆栄養マネジメント-3	食環境づくりのためのプログラムの展開	食品表示法, 栄養成分表示, 特別用途食品, 特定保健用 食品など
9	栄養疫学-1	栄養疫学の概要 疫学的手法	観察研究(横断研究, コホー ト研究など), 介入研究(無 作為割付比較試験など)
10	栄養疫学-2 わが国の栄養・食料 政策-1	食事調査の方法と活用 わが国の栄養士・管理栄養士制度	食事記録法, 24 時間食事思 い出し法, 食物摂取頻度調 査法, 栄養士, 管理栄養士
11	わが国の栄養・食料 政策-2	公衆栄養活動と関連行政・法規	健康・栄養行政 健康増進法・食育基本法・地 域保健法など
12	わが国の栄養・食料 政策-3	わが国の健康づくり施策の変遷 栄養・健康指導のガイドライン	健康日本 21, 食育推進計画, 食生活指針, 身体活動・運動 ガイド, 睡眠ガイド, 食事バ ランスガイドなど
13	諸外国の健康・栄養 政策	世界の健康・栄養問題の現状と課題 国際機関の健康・栄養政策、 諸外国の栄養士制度	ヘルシーピープル, マイブ レート, SDGs, WHO, FAO
14	日本人の食事摂取基 準 (2025 年版)	食事摂取基準の策定方針と活用 策定の基本事項	対象, エネルギー・栄養素の 指標
15	公衆栄養学のまとめ	単元のポイント(復習)と質疑応答	

事前・事後学習の内容	事前に教科書にて学習内容を確認する。
成績評価の方法	提出物と*授業態度：10% 学期末テスト：90% *実践の取り組み態度, 忘れ物, 私語, 不必要な携帯電話の使用など、問題 のある場合減点とする 評価基準は合計 90 点以上：S、85～89 点：A+、80～84 点：A、 75～79 点：B+、70～74 点：B、65～69 点：C+、60～64 点：C、 59 点以下：D とし、D は不合格とする。 ただし、出席が 2 / 3 未満の場合は評価をせず不合格とする。
教材	エスカベーション 公衆栄養学：同文書院 適宜、資料、プリントを配布する